

新しい風景の発見

旅のビューフェ

2025 4.5(土)→7.22(火)



ベルナルド・ビューフェ 《ヴェネツィア：大運河》
1962年 油彩・カンヴァス 200×350cm ベルナルド・ビューフェ美術館

Musée Bernard Buffet

ベルナルド・ビューフェ美術館

〒411-0931 静岡県長泉町東野クレマチスの丘515-57

Tel.055-986-1300 Fax.055-987-5511 www.buffet-museum.jp

開館時間：10時～17時
*入館は閉館の30分前まで
休館日：水・木曜日（祝・休日の場合は開館し、翌金曜日を休館）
*開館情報は公式サイトをご確認ください
入館料：大人1,500円（1,400円）
高・大生750円（650円）
中学生以下無料
*（ ）内は20名以上の団体割引
主催：ベルナルド・ビューフェ美術館
後援：静岡県教育委員会
沼津市教育委員会
長泉町・長泉町教育委員会
清水町・清水町教育委員会
裾野市・裾野市教育委員会
三島市・三島市教育委員会
静岡新聞社・静岡放送

旅のビュフェ

新しい風景の発見

ベルナール・ビュフェは、旅をするようにアトリエを移した画家でした。生地パリで画家としての評価を確立しますが、その後南仏のナンスやエクス・アン・プロヴァンス、北仏のサン・カスト、中部のトゥールトゥールなど、フランス国内で幾度も拠点を換え、その度に移り住んだ土地の景色を作品に描きました。ビュフェにとって、アトリエを構えた土地の眺めは、描かれる対象となる重要なモチーフでした。ビュフェが国外にアトリエを構えることはありましたが、アメリカマイアリス、イタリア、日本、ギリシアなどを、仕事やプライベートで訪ねています。

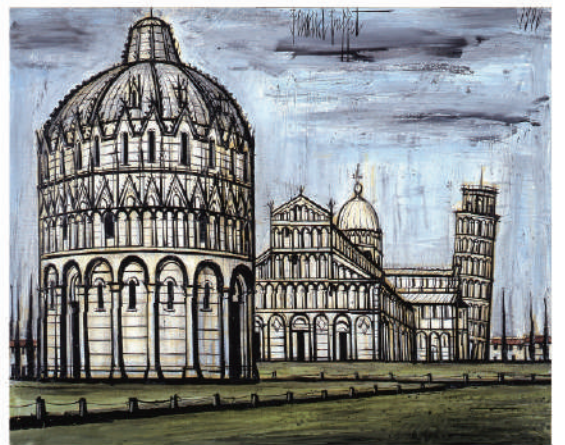
フランスとは異なる街のたたずまいや自然のありさまはビュフェに新たな刺激を与え、異国風景の制作に向かわせました。その成果は1959年に行われた個展「ニューヨーク」マ1963年の「ヴェネツィア風景」展、1981年に開催された「日本」展に結実しています。ビュフェの風景画は、旅の軌跡でもあるのです。風景画はビュフェが初期から晩年まで描き続けた重要なジャンルの一つです。本展では、「旅」という行為を手掛かりに、ビュフェの風景画について考える初の展覧会となります。

© 南川三治郎



A	D
B	E
C	F

A (ニューヨーク・国連ビル) 1958年、油彩カンヴァス、72.4×149 cm
 B (ウィットヘンダムの風車) 1985年、油彩カンヴァス、114×146 cm
 C (嵐のちるミコノスの眺め) 1992年、油彩カンヴァス、114×195 cm
 D (サンクトペテルブルク、キヤン邸) 1992年、油彩カンヴァス、114×195 cm
 E (プルーニエの女) 1996年、油彩カンヴァス、146×89 cm
 F (ピナ、洗礼堂、大聖堂、村舎) 1990年、油彩カンヴァス、130×162 cm
 ABCDF / 静岡新聞社、E / ベルナール・ビュフェ美術館



【ギャラリートーク】

●学芸員が展示について解説します。4/20、5/18、6/15、7/20(すべて日曜日) いずれも14:00から、展示室にて。*予約不要。入館券が必要です。

【ワークショップ】長谷川ジェットのワークショップ開催

●毎月1回、長泉町在住のアーティスト長谷川ジェットのワークショップを開催します。開催日：4/13、5/11、6/8、7/6(すべて日曜日)
 *詳細は当館ウェブサイトをご覧ください。開催1か月前に詳細情報を掲載します。

アクセス

【自動車の場合】新東名・長泉沼津 I.C. または東名・沼津 I.C. →伊豆縦貫道(東駿河湾環状道路)→長泉 I.C. 出口/R246を右折/「城山」交差点左折/静岡がのセンター方面へ(新東名長泉沼津 I.C.より約5km)
 【電車の場合】JR東海道線[三島駅]下車 南口より富士急シティバス駿河平方面行(運行本数に限りがあります。詳細は公式サイトをご覧ください)

ベルナール・ビュフェ美術館



〒411-0931 静岡県長泉町東野クレマチスの丘515-57
 Tel.055-986-1300 Fax.055-987-5511
 www.buffet-museum.jp